

第3期事業年度
(平成18年度)

決算報告書

国立大学法人 帯広畜産大学

平成18年度 決算報告書 (第3期事業年度)

国立大学法人 帯広畜産大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算 - 予算)	備 考
収入				
運営費交付金	3,075	3,075	0	
施設整備費補助金	840	840	0	
補助金等収入	30	58	28	(注1)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	22	22	0	
自己収入	826	911	85	
授業料、入学料及び検定料収入	720	783	63	(注2)
雑収入	106	128	22	(注3)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	724	872	148	(注4)
目的積立金取崩	30	0	30	(注5)
計	5,547	5,778	231	
支出				
業務費	2,910	2,600	310	
教育研究経費	2,910	2,600	310	(注6)
一般管理費	1,021	929	92	(注7)
施設整備費	862	862	0	
補助金等	30	58	28	(注8)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	724	870	146	(注9)
計	5,547	5,319	228	
収入 - 支出	0	459	459	

予算と決算の差異について

- (注1) 補助金等収入については、国からの補助金の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が28百万円多額となっております。
- (注2) 授業料、入学料及び検定料収入については、主として受験者数及び在籍学生数が増加したため、予算額に比して決算額が63百万円多額となっております。
- (注3) 雑収入については、主として家畜病院の診療体制の強化に努めたこと等により、予算額に比して決算額が22百万円多額となっております。
- (注4) 予算段階では予定していなかった国等からの受託研究の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が148百万円多額となっております。
- (注5) 予算段階で予定していた目的積立金の取り崩しを行わなかったため、予算額に比して決算額が30百万円少額となっております。

- (注6) 教育研究経費については、退職手当支給者数の減及び成果進行基準適用事業の繰越し等により、予算額に比して決算額が310百万円少額となっております。
- (注7) 一般管理費については、経費の節減に努めたため、予算額に比して決算額が92百万円少額となっております。
- (注8) (注1)に示した理由等により、予算額に比して決算額が28百万円多額となっております。
- (注9) (注4)に示した理由等により、予算額に比して決算額が146百万円多額となっております。